



11月16日鍵屋資料館20周年開館記念

基調講演は村田路人さんの「河村瑞賢河川整備事業」

◎チラシあり

市立枚方宿鍵屋資料館(堤町10-27)は7月3日に開館20周年を迎えた。これを記念し、11月16日(火)に総合文化芸術センターで開館20周年記念講演会を開催する。基調講演として、枚方市市史編纂委員で神戸女子大学教授の村田路人さんが枚方市に関する歴史と淀川の関係について講演する他、唄と尺八による「淀川三十石船舟唄」の実演や当館学芸員の講演もある。担当者の1人である片山さんは「淀川舟運や文化について学ぶことができ、市の文化に触れる機会では」と話す。参加料は無料。先着60人。事前に電話にて申し込みが必要。

★内容と講演者

基調講演「河村瑞賢の畿内河川整備事業と枚方地域」 神戸女子大学教授 村田路人

アトラクション「淀川三十石船舟唄」 小寺千恵子、藪泰敏

講演Ⅰ「料亭『鍵屋』と京街道のまちなみ」 当館学芸員 三桝友梨香

講演Ⅱ「幕末の淀川舟運と将軍に献上されたくらわんか餅」 当館学芸員 片山正彦

★基調講演で触れる河村瑞賢は江戸時代の商人で、海運・治水の功労者。江戸幕府からの命を受けて行った事業のうち東廻り・西廻り海運の刷新と淀川河川の改修が主な功績として挙げられる。

★実演する淀川三十石船舟唄は大阪に伝わる民謡の1種。大阪から京都の水上交通を担っていた淀川の船頭たちが舟の櫓を漕ぎながら唄っていたものが由来。

★講演Ⅱのテーマであるくらわんか餅は、淀川を往来する船に向かって「餅くらわんか」とよびかける声が風物詩となり枚方の銘菓となったもの。

<お問い合わせ>

市立枚方宿鍵屋資料館 ☎・FAX: 072-843-5128

20th

kagiya anniversary

市立枚方宿鍵屋資料館 開館20周年記念講演会

2021年11月16日(火)

開場13:00 開会13:30

プレ企画:スライドショー「鍵屋資料館の四季・日々折々」上映!

会場:枚方市総合芸術文化センター 関西医大小ホール

※入場無料 11月1日(月)9:00より電話申込み!

鍵屋資料館 ☎072(843)5128まで

講演 「河村瑞賢の畿内河川整備事業と枚方流域」
枚方市史編纂委員会委員長 村田 路人氏

講演 「料亭『鍵屋』と京街道のまちなみ」

鍵屋資料館学芸員 三樹 友梨香

公演 唄と尺八「淀川三十石船舟唄」
小寺 千恵子氏 藪 泰敏氏

講演 「幕末の淀川舟運と将軍に献上されたくらわんか餅」

鍵屋資料館学芸員 片山 正彦



KAGIYAMUSEUM SINCE 2001